

「社会価値創造型」企業への変革を目指して ～事業活動をとおした社会的課題解決への貢献～

これからの中堅企業は、地球規模で発生するさまざまな社会的課題の解決をビジネスとして捉え、そのためのイノベーション、ビジネスモデルの創出を競争力強化、企業価値向上につなげていくことが重要です。NECは、2004年に制定したCSR経営の基本方針の中で「事業活動をとおした社会的課題解決への貢献」を掲げ、2007年には「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」として4つのテーマを設定し、それぞれのテーマに沿った社会的課題解決に取り組んでいます。本特集では、それら取り組みの具体例を紹介します。それに先立ち本稿では、NECのCSR経営の考え方、「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」について概説します。

CSR・環境推進本部
CSR・社会貢献室
シニアエキスパート
森実 尚子

1. はじめに

現在、地球上にはさまざまな社会的課題が存在しています。一例を挙げれば、世界人口の急速な増加に伴う食料・水・エネルギーなど資源の逼迫、地球温暖化の進行、生態系破壊など生物多様性の劣化、先進国を中心とする少子高齢化の進展に伴う労働力の減少及び健康・医療・福祉の問題などです。

このような社会的課題の多くは、企業活動のインパクトがその一因でもあります。つまり、その解決に積極的に寄与していくことが企業の社会的責任であり、社会やステークホルダーの皆様から求められていることもあります。一方で、このような社会的課題の解決は、企業にとってのビジネスチャンスと捉えることができます。これからの中堅企業は、地球規模で発生するさまざまな社会的課題の解決をビジネスとして捉え、そのためのイノベーション、ビジネスモデルの創出を競争力強化、企業価値向上につなげていくことが重要です。

このような考え方は、これまでにも「本業でのCSR（＝事業活動をとおした社会的課題解決への貢献）」として、一部の関係者には共有されていました。2011年にハーバード大学のマイケル・ポーター教授が、CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造=「社会価値と経済価値の同時実

現を目指す経営の考え方・取り組み])として提唱したことにより、一気に存在感を増してきました¹⁾。

NECでも、2015中期経営計画の中で、「人が生きる、豊かに生きる」ための社会ソリューション事業への注力との中期経営方針が示されています。これは、交通管制、消防・防災、水の管理など、日常生活に不可欠な社会インフラにおける実績を生かし、新興国を中心としたICTインフラの効率化、高度化事業に経営資源を集中し、加えてエネルギー・安全・安心などの社会的課題の解決を成長機会と捉えて、「社会価値創造型」企業への変革を目指すというものです。

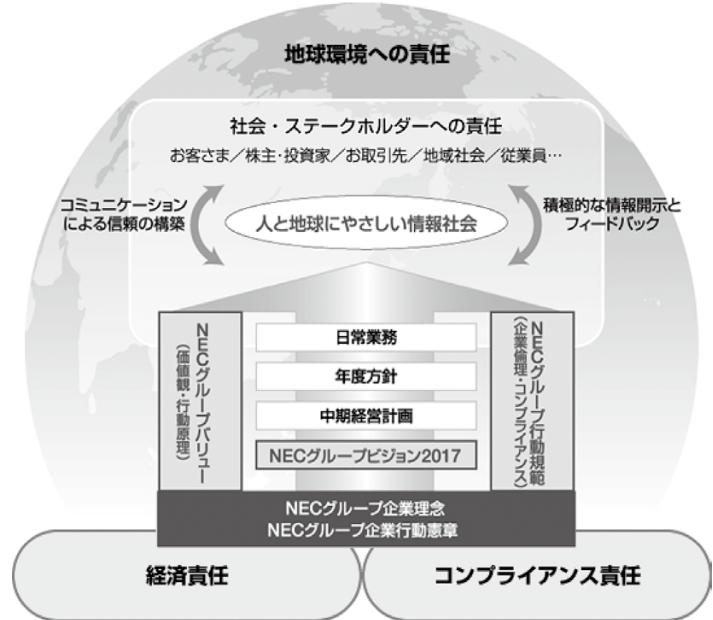
本稿では、「社会的課題解決に貢献するNECの事業活動」特集概説として、NECのCSR経営の考え方の概要を紹介したうえで、社会価値創造型企业への変革に向けた起点ともいえる「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」である4つのテーマについて説明します。

2. NECのCSR経営

2.1 基本的な考え方

NECにとって、CSRへの取り組みは企業活動そのものであり、「NEC Way」の実践をとおして、社会・お客さまとNECグループの持続可能な発展を追求していくことです（図1）。

「NEC Way」の実践をとおした社会とNECグループの持続可能な発展



※「NEC Way」は、NECグループ企業理念、NECグループビジョン2017、NECグループパリュー、NECグループ企業行動憲章、NECグループ行動規範を含むNECグループの経営活動の仕組みを体系化したものであります。

図1 CSR経営の基本的な考え方

企業は、社会に生かされている存在であり、このことを深く自覚することが重要です。そのうえで、企業理念に基づき「NECグループビジョン2017」に掲げる「人と地球にやさしい情報社会」を実現すべく、社員一人ひとりが日々の業務の中で、コンプライアンス・企業倫理を徹底し、「NECグループパリュー」を実践し、社会・お客さまの課題解決に貢献していくこと。更に、その成果と課題をステークホルダーの皆様に開示し、説明責任を果たしていくこと、及びステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをとおして企業活動を改善し、信頼関係を構築することも重要な社会的責任です。

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをとおして、社会・お客さまの本質的課題を追究し、解決に対するヒントを得て、それを新規事業の立ち上げや既存事業の強化につなげ、イノベーションを創造し、社会やお客さまにより大きな価値を提供していくことが重要です。このような好循環により、NECグループと社会・お客さまとの共通価値を創出することが、NECグループが社会の中で持続的に必要な存在としてあり続けるための基軸であり、このような考え方に基づいた経営が、NECグループにとってのCSR経営です。

2.2 基本方針と優先テーマ

NECは、2004年に「CSR経営の基本方針」として下記の3つを制定しています。

- (1) リスク管理・コンプライアンスの徹底
- (2) 事業活動をとおした社会的課題解決への貢献
- (3) ステークホルダーコミュニケーションの推進

2007年には、この基本方針に基づき、ステークホルダーの皆様の意見や期待と、NECの企業理念、成長戦略、事業活動が社会や環境に与える影響などを考慮して、事業戦略上重要で優先度が高い7つのテーマを選定しています(図2)。

7つのテーマは、「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」及び「事業活動を支える社内のマネジメント」の2つに分類されます。本特集では、前者の4つのテーマに焦点を当てて紹介します。

なお、「事業活動」には、ビジネスだけでなく社会貢献活動も含んでいます。NECでは社会貢献活動を、地域社会との信頼関係を築き、地域社会の課題やニーズを理解することにより、社会価値の創造につながる重要な活動と捉えています。

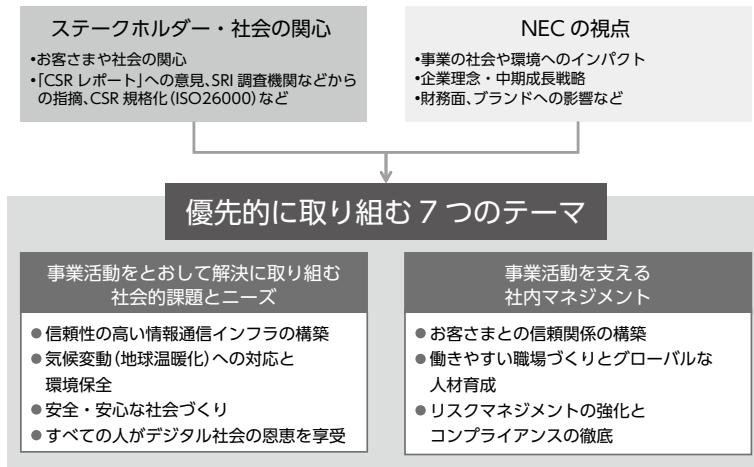


図2 CSR経営上優先的に取り組む7つのテーマ

3. 事業活動をとおして課題解決に取り組む社会的 課題とニーズ

ここでは社会価値創造型企業への変革に向けた起点ともいえる、「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」の4つのテーマについて概説します。また、本特集で取り上げている主な事例についても紹介します。

3.1 信頼性の高い情報通信インフラの構築

4つのテーマのうち「気候変動(地球温暖化)への対応と環境保全」「安全・安心な社会づくり」及び「すべての人がデジタル社会の恩恵を享受」の取り組みを進めるためには、「信頼性の高い情報通信インフラの構築」が不可欠です。NECは、イノベーションによって信頼性の高い情報通信インフラを構築し、人と地球にやさしい情報社会を支えていきます。

このテーマについて本特集では、高速道路向け交通管制システムや光海底ケーブルシステムの高信頼大容量伝送、ネットワーク技術などを紹介します。

3.2 気候変動(地球温暖化)への対応と環境保全

気候変動(地球温暖化)の主な原因が、経済活動を営む人間の活動にあることは世界共通の認識です。人間の活動に起因するCO₂を含む温室効果ガスの排出による地球の温暖化が、深刻な社会問題となっています。NECは、自社からの排出量削減だけでなく、ITを活用したエネルギーソ

リューションの提供によって、社会全体のCO₂排出削減に貢献します。また、生態系・生物多様性の保全や資源循環・省資源のための取り組みも行います。

本特集では、第一期水循環変動観測衛星「しづく」による定常観測、省電力サーバなどを紹介します。

3.3 安全・安心な社会づくり

自然災害への対応、健康・医療の増進、情報セキュリティの向上、人間の安全保障などグローバル社会はさまざまな安全上の課題を抱えています。NECは、ITとネットワークのソリューションによって、人々が安心して健やかに暮らせる社会づくりに貢献します。

本特集では、防災行政無線システムや消防救急無線通信システム、個人情報を守るデータ処理技術など、人々の生活を守る取り組みを紹介します。

3.4 すべての人がデジタル社会の恩恵を享受

デジタル社会は便利で豊かな暮らしをもたらしますが、経済や情報などの格差により、その恩恵を受けることが難しい人々も存在します。NECは、発展途上国の人々や障がい者、高齢者など、あらゆる立場の方々がデジタル社会の恩恵を受けられるよう、IT・ネットワーク技術の提供を通じて、また企業市民の立場で社会に貢献します。

本特集では、IT技術により高齢者の暮らしを支える介護施設向け入退検知ソリューションや、聴覚障がい者向け遠隔要約筆記システムなどを紹介します。

4. 社会価値創造型企業に向けて

NECは、2013年4月に発表された中期経営計画の中で、社会ソリューション事業への注力を方針として打ち出し、社会価値創造型企業への変革を宣言しました。その変革の実現のためには、地球上の各地域で発生しているさまざまな社会的課題に着目し、その解決をビジネスと捉え、お客様・社会の潜在ニーズを追求することが起点になると考えています。

本特集では、社会価値創造型企業への変革に向けたさまざまな取り組みについて、「事業活動をとおして解決に取り組む社会的課題とニーズ」の4つのテーマに沿って詳しくご紹介しています。

今後もNECは、事業活動をとおした社会的課題の解決に貢献し、社会とNECグループの持続可能な発展に向けて取り組んでまいります。

参考文献

- 1) Michael E. Porter, Mark R. Kramer : Creating Shared Value, Harvard Business Review, Jan-Feb 2011

NEC 技報のご案内

NEC技報の論文をご覧いただきありがとうございます。
ご興味がありましたら、関連する他の論文もご一読ください。

NEC技報WEBサイトはこちら

NEC技報(日本語)

NEC Technical Journal(英語)

Vol.66 No.1 社会的課題解決に貢献するNECの事業活動特集

社会的課題解決に貢献する NEC の事業活動特集によせて
「社会価値創造型」企業への変革を目指して～事業活動をとおした社会的課題解決への貢献～

◇ 特集論文

信頼性の高い情報通信インフラの構築

新東名高速道路での導入事例にみる次世代交通管制システムの特徴
国際通信を支える光海底ケーブルネットワークの大容量化及び高信頼化技術
基幹系ネットワークを支える要素技術とパケット光統合トランスポート装置
どこでも安定的な通信品質を実現するLTE フェムトセル基地局向け干渉制御技術の開発

気候変動(地球温暖化)への対応と環境保全

第一期水循環変動観測衛星「しづく」の定常観測
データセンターの省電力化へ貢献する「Express5800シリーズ」「iStorage Mシリーズ」
新原理「スピンドル効果」による熱電変換の可能性

安全・安心な社会づくり

CONNEXIVE 放射線測定ソリューション
市町村同報系防災行政無線システム～災害情報伝達の多様化に向けて～
消防救急無線通信システムのデジタル化推進
NECのBCソリューション～企業の事業継続を支えるiStorage HS～
水中からの脅威に対処する水中監視システム及びその関連技術
監視用小型無人機システムとその関連技術
クラウドを用いたプライバシー保護型データ処理技術
信頼できるクラウドストレージの実現に向けて

すべての人がデジタル社会の恩恵を享受

介護施設における安全確保のための「徘徊防止ソリューション」の実証実験
遠隔地からの聴覚障がい者向け要約筆記作業支援システム
対話のきっかけとなる話題提供によるコミュニケーション活性化技術

◇ NEC Information

社会貢献活動のご紹介

NECの社会貢献プログラムの基本方針と活動事例
ICTによる復興支援への取り組み



Vol.66 No.1
(2013年8月)

特集TOP